

題目 奈良時代

※ 答えは、別紙の解答らん^{かいとうらん}に書き入れなさい。

1 次の会話を²⁰読んで、後の問いに答えなさい。

中野さん：701年につくられた^A律令^{りつりょう}は、何についてのきまりだったのでしょうか？
 先生：¹政治のしくみと刑罰のルールを決めたものでした。^Aはそのころの日本の元号でもあります。
 津田さん：^A律令は、当時の中国の制度^{せいど}を手本としてつくられたんですね。²710年に完成した新しい都^{みやこ}も、当時の中国の都^{みやこ}にならって建設^{けんせつ}されました。
 先生：津田さんは奈良時代^{なら}についてとてもよく勉強^{べんきょう}していますね。
 中野さん：都から遠く離れた地方へはどのように命令^{めいれい}していたんですか？
 先生：³地方の政治は、都から派遣^{はんぱん}された貴族^{きしやく}が^Bとして政治を行っていました。
 津田さん：この時代にも現代社会^{げんだい}と同じように、⁴税^{ぜい}があったんですね。税を集める役人もいました。
 中野さん：今みたいに、お金を納めていたんですか？
 先生：いいえ、現代とはちがいで、品物を納めたり、労役^{らうえき}を行ったりしていました。

問1 ^Aにあてはまることばを漢字で答えなさい。また、^Bにあてはまる役職^{やくしやく}の名を漢字で答えなさい。

問2 下線①^{せん}について、天皇のもとに二官^{にくわん}^C省^{しやう}が置かれ、^Dが決めた政策^{せいさく}にもとづいて政治が行われました。^Cにあてはまる数を漢数字で答えなさい。また、二官のうちの一つである^Dにあてはまることばを漢字3字で答えなさい。

問3 下線②^{せん}について、次の問いに答えなさい。

1 下線②の都の名を答えなさい。また、この都について述べた文として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 都の南部には、天皇の住まいと役所がありました。
- イ 都の東と西には市が開かれて、各地から納められた産物が売り買いされていました。
- ウ 都の中央には、南北に走る朱雀大路^{すざくおおぢ}がありました。
- エ 都の北東部には、外京^{げいきやう}がつけられました。

2 1の都が完成する2年前につくられた貨幣^{かへい}の名を答えなさい。また、この貨幣は、ある国で発見された銅^{どう}を使用してつくられました。この銅が発見された国を次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 大和国
- イ 相模国
- ウ 武蔵国
- エ 讃岐国

問4 下線③^{せん}について、九州の政治と外交・防衛^{ぼうえい}の役割^{やくわり}を担っていた役所^{にや}の名を答えなさい。また、この役所について述べた文として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 現在の長崎県^{ながさきけん}に置かれ、中国や朝鮮半島との外交の窓口^{まどぐち}となりました。
- イ この役所を守る兵士たちがよんだ、「貧窮問答歌^{ひんきゆうもんとうか}」が有名です。
- ウ この役所を守る兵士は防人^{さきもり}とよばれ、その任期^{にんき}は3年間となりました。
- エ この役所の長官は郡司^{ぐんじ}といい、この地方の豪族^{ごうぞく}が任命^{にんめい}されました。

問5 下線④^{せん}について、次の問いに答えなさい。

1 税を納めさせるために、朝廷^{てうてい}は6年ごとに戸籍^{こせき}をつくり、それにもとづいて6歳以上の男女に口分田^{くぶんでん}をあてました。このことが定められたきまりを何といいますか。

2 税について述べた文として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 調は、各地の特産物を納める税です。
- イ 庸は、都で10日間働く代わりに布を納める税です。
- ウ 租は、収穫した米の約3%を納める税です。
- エ 租・調・庸は、すべて都に納める税です。

3 税には、税を納めた人の名前・住所や納めた品目・数量などがわかるように荷札^{にやせ}がつけられるものもありました。このような荷札を何といいますか。

2
30

奈良時代に活躍した次の人物についての表を見て、後の問いに答えなさい。

人物	自分のことについて述べた内容
⑥ 天皇	私は、奈良時代の天皇で、熱心に仏教を信仰していました。そのため、①全国各地に寺院をつくりました。また、②新たな土地制度を制定しました。私が政治を行っていたところに③唐の影響を強く受けた仏教文化が栄えました。
① 皇后	私は藤原氏の出身で、⑥天皇の妻です。⑥天皇と同様に仏教をあつく信仰していました。また、④貧しい人々や病人、親のいない孤児のための施設もつくりました。
僧の③	私は各地に橋や池などをつくりながら、人々に仏教を説きました。最初は朝廷から活動を禁止されましたが、後々、⑤天皇の命令で⑤ある寺院に大仏をつくることになり、それに協力することになりました。

問1 下線①について、このときそれぞれの国ごとに建てられた寺院を何といいますか。漢字3字で答えなさい。

問2 下線②について、次の問いに答えなさい。

- 723年にAの法が出され、その20年後に⑥天皇によって墾田永年私財法が出されました。また、墾田永年私財法が出された後に生まれた私有地をBといっています。A・Bにあてはまることばをそれぞれ答えなさい。
- 墾田永年私財法でそれまでのきまりから新たに認められたことはどのようなことですか。30字以内で説明しなさい。

問3 下線③について、次の問いに答えなさい。

- 下線③の文化の名を解答らんにあてはまるように漢字で答えなさい。
- 朝廷は、天皇が国を支配するようになったいわれをまとめた歴史書をつくりました。この歴史書を次から選んで、記号で答えなさい。
ア 『風土記』 イ 『日本書紀』 ウ 『漢書』 エ 『万葉集』
- この文化のころ、日本と中国の間では、人やものの行き来がさかんに行われていました。次のⅠ・Ⅱにあてはまる人物をそれぞれ下から選んで、記号で答えなさい。
Ⅰ 留学生として唐に渡り、唐の皇帝に仕えました。帰国を望みましたが、船が流されて日本に帰ってくることはできませんでした。
Ⅱ 中国から日本に渡り、日本の僧の制度を整えました。唐招提寺を開いた後、日本で亡くなりました。
ア 鑑真 イ 孔子 ウ 阿倍仲麻呂 エ 犬上御田敏
- 唐へ向かうための航路について述べた文として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。
ア 朝鮮半島に沿う航路は、新羅と関係が悪化して通れなくなりました。
イ 8世紀ごろには、4隻で船団を組み、500～600人が乗っていました。
ウ 東シナ海を横断する南路とよばれる航路は、大きな危険をとまいませんでした。
エ 北路も南路も、海に面した唐の都である長安に直行する航路でした。

問4 下線④について、①皇后が人々を救うためにつくった施設を次から2つ選んで、記号で答えなさい。

- ア 施薬院 イ 広隆寺 ウ 法隆寺 エ 悲田院

問5 下線⑤について、次の問いに答えなさい。

- この寺院の名を漢字で答えなさい。
- 1の寺院には、⑥天皇の日用品などを保管してきた倉庫があります。この倉庫の名を漢字で答えなさい。
- 2の倉庫は、ヨーロッパと中国を結ぶ交易路の終着駅ともよばれることがあります。中国の特産品から名づけられたこの交易路の名を解答らんにあてはまるようにカタカナで答えなさい。

問6 ⑥・①にあてはまる人物の名をそれぞれ答えなさい。

3 4～7世紀に起きた次のできごとについて述べた文を読んで、後の問いに答えなさい。

【各世紀のできごと】

- 4世紀 … ①ヤマト政権の支配者は、国内の有力豪族を従えとともに、②朝鮮半島にも進出しました。
 5世紀 … ③巨大な古墳がつくられ、古墳の内部には副葬品が、周辺には④円筒形や人物などをかたどった素焼きの土製品がおかれました。
 6世紀 … ⑤渡来人が多くの技術や文化をもたらしました。また、この世紀の終わりごろには⑥聖徳太子が蘇我氏とともに政治を始めました。
 7世紀 … ⑦大化の改新により、新たな政治が行われました。また、⑧天皇の後つぎをめぐる争いも起こりました。

問1 下線①が、豪族たちの集団の家柄に応じて臣・連などの位を与え、豪族たちを中央や地方の政治に参加させたしくみを何といいますか。解答らんに合うように答えなさい。

問2 下線②について、ヤマト政権は朝鮮半島の西側にあった [A] と手を結び、半島北部の [B] と戦ったということが [B] の王の石碑に記録されています。[A]・[B] のうち、[A] にあてはまる国を次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 百済 イ 伽耶諸国 ウ 魏 エ 高句麗

問3 下線③のうち、大阪府堺市にある日本最大の古墳を次から選んで、記号で答えなさい。また、この古墳の形は [C] 墳です。[C] にあてはまることばを答えなさい。

- ア 森將軍塚古墳 イ 大仙古墳 ウ 江田船山古墳 エ 稲荷山古墳

問4 下線④について、このような素焼きの土製品を何といいますか。

問5 下線⑤について、渡来人が伝えた技術や文化として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア まゆから生糸をとって、綿織物をつくる技術。 イ たため池をつくる土木技術。
 ウ のぼりがまですえ器をつくる技術。 エ 儒教や仏教。

問6 下線⑥について、次の問いに答えなさい。

1 聖徳太子は、おばにあたる [D] 天皇の [E] として政治を行いました。[E] とは、天皇が幼いときや女性のときに政治をたすける役職をいいます。[D]・[E] にあてはまる組み合わせとして正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア [D]=元明・[E]=摂政 イ [D]=推古・[E]=里長
 ウ [D]=元明・[E]=里長 エ [D]=推古・[E]=摂政

2 聖徳太子が定めた憲法十七条の内容として正しいものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 蘇我氏の命令には従いなさい。 イ 和をとつとび、争うことのないようにしなさい。
 ウ 中国の皇帝をあつこうやまいなさい。 エ 全国を国・郡(評)に分け、都の近くは畿内とする。

問7 下線⑦について、この改革のはじめに滅ぼされた人物を次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 蘇我入鹿 イ 中臣鎌足 ウ 山部赤人 エ 蘇我馬子

問8 下線⑧について、672年に起こったこの争いとこの争い後の政治について述べた文として正しくないものを次から選んで、記号で答えなさい。

- ア この争いを壬申の乱といいます。 イ 後つぎ争いの勝者は、天武天皇となりました。
 ウ 富本銭が全国的に使われるようになりました。 エ 白鳳文化が栄えました。

問9 白村江の戦いが起こったのは何世紀ですか。次から選んで、記号で答えなさい。

- ア 4世紀 イ 5世紀 ウ 6世紀 エ 7世紀

5年 社会 解答用紙 (bc)

(2022. 9. 24)

(2の1)

氏名	
----	--

1	問		
	1	A	B

問			問		都		記
2	C	D	3	1	の	5	号
					名		

問	2	貨幣		記
3		の名	6	号

問	役		記	問	
4	所		号	5	1
	の				8
	名				

問	2		3
5		9	10

2	問	
2	1	11

問	1	A	の法	B
2		12		13

4	問	2																	

2	問		文化	2	3	I	II	4
	3	1		15	16	17		18

問		問		2
4	19	5	1	20
				21

予習シリーズ5年Ⓣ第3回

5年 社会 解答用紙 (bc)

(2022. 9. 24)

(2の2)

氏名

2	問	3		ロード
2	5	22		

問	Ⓐ		天皇	Ⓐ	
6	23			24	

3	問		制度	問	
2	1	25		2	26

問	記		C		墳	問	
3	号	27				4	28

問		
5	29	

問	1	
6	30	

2		
31		

問		
7	32	

問		
8	33	

問		
9	34	